

板橋区長選挙

投票日 4月23日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

10年先に誇れる板橋をつくる

区議8年の実績

- 医療的ケア児受け入れ
 - 保育園オムツ持帰廃止
 - ファミサポ使用改善 ●子育て相談24時間
 - 犬も入れる公園を実現 ●区の情報発信を強化
- など区民の方の声から多数実現しました

南雲由子のプロフィール

蓮根生まれ●同援みどり保●志六小
●学習院女子中高●山野美容芸術短大●東京芸大●東大大学院修了

芸大で現代美術を学び、文化によるまちづくりを実践。2015年初当選後、区議2期8年。子どもの事故予防地方議員連盟 役員。文化芸術振興自治体議員連盟 共同代表。6歳子育て中。

南雲由子 検索

f t i s

6つの重点政策

- 1 小中学校給食費の無償化 & 「当事者」目線の子育て支援
- 2 認知症・在宅介護の安心 & 元気なシニアの趣味や仕事応援
- 3 区立福祉園の民営化見直し & 安心の地域づくり
- 4 わかりやすい情報発信と 住民参加のまちづくり
- 5 危機管理専門官を設置し、多様な危機への体制を強化
- 6 区長退職金廃止・給与2割カット

区議2期8年
東京芸大東大院卒

コロナ禍を経て、多様な人々の声を聴き、変化にさらやかに対応する。さあ、新時代へ！

現実的で新時代をつくる
100の政策




無所属
なくもゆうこ
南雲由子 40歳

東京で一番住みたくなるまち板橋の新たなステージへ。

未来を担う人づくり / 子どもを産み、育て、学ばせたいと思うまち、高齢者が健康で、心豊かに暮らせるまちに。

- 学校給食費の負担軽減、出産・子育て応援事業の充実、ひきこもり、ヤングケアラー等への支援、子ども医療費の助成を所得制限なく18歳まで拡充するなど、子育て世帯の負担を軽減します。
- 生活の課題を地域の支えあいでも解決する包括的支援体制の構築や、高齢者が安心して地域で暮らせる医療・介護等の環境が整う板橋区版AIPの充実を図るほか、子どもや高齢者、障がい者、外国人、LGBTQ など多様性を認め合う共生社会をめざします。

魅力ある元気なまちづくり / 未来志向のまちづくり、「板橋ブランド」向上・発信で、さらに魅力と活力あふれるまちに。

- 高島平地域では、旧高島第七小学校周辺及び高島平駅周辺を合わせた交流核エリアにおいて、UR都市機構と連携し、団地再生を含む連鎖的都市再生を進め、SDGsを指向し、健康で暮らしやすく、にぎわいのあるスマートシティのまちづくりを進めます。
- 中央図書館を拠点に、美術館をはじめ様々な事業や主体が連携しながら「絵本のまち」として区政全般にわたり、絵本のデザインや特徴を生かした課題解決に取り組みます。

安心・安全な環境づくり / 災害に強く、環境にやさしい環境先進自治体・エコポリス板橋の実現へ。

- 東武東上線の連続立体化及びホームドアの設置を促進し、交通渋滞や事故の解消を図ります。
- 「いたばしPay」の利用を促進し、キャッシュレス決済の普及と地域経済の活性化を図るとともに、ポイントを活用して健康づくりや環境行動の促進など様々な行政課題の解決に取り組みます。

板橋区長(4期) 1959年12月24日板橋区生まれ 63歳・働きざかり 検索



無所属
坂本たけし

転換しよう! 希望をもって生きていける板橋に

板橋区は区民に負担増とサービス削減を押し付けて税金をため込み、基金総額は1,144億円になりました。区民の暮らしに背を向ける区政から、誰もが希望を持って生きていけるジェンダー平等の板橋区に転換します。

【プロフィール】
1961年生まれ●広島市出身●現在劇団員

子育てを応援

- 学校給食費を無償化、給付型奨学金を創設
- 子どもの権利条例を制定し 少人数学級を拡充
- 小中一貫校づくりは中止、見直し



住民参加でまちづくり

- 大規模開発を住民参加で見直し、特定整備路線補助26号線の建設計画の撤回を東京都に求める
- 交通不便地域の解消へ、コミュニティバスの運行を拡充
- 耐震補強工事助成や避難支援体制の強化
- 気候危機打開をめざし、CO2削減計画を見直す

介護と医療の安心

- 国民健康保険料、介護保険料を引き下げる
- 後期高齢者医療費の窓口負担を原則1割に戻す

中小業者への支援

- 事業者の固定費(賃料やリース代)助成などの支援を拡充
- 公契約条例を制定

大軍拡ストップ、消費税5%への減税とインボイスの中止を



無所属
佐久ひろみ